

皆さんの先輩は・・・「わが青春の記録」(生徒生活体験発表会)

「わが青春の記録」という文集は、東京都高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会で発表された生活体験の記録です。

東京都高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会は、昭和28年から70回を数える歴史と伝統を持つ大会です。文集には、真剣に生きようと努力している高校生の姿がつつられています。その一つ一つが、挫折や困難を乗り越え、自己実現を図ろうとすることの大切さとすばらしさを教えてくれます。代表として、令和4年度の文集から、小川さんと新山さんのお話の一部を抜粋します。

「変わった私」

都立園芸高等学校 三年 小川 和樹

私は昔から、意見を言うのが苦手でした。意見を言う際「自分の意見は間違っていないか」「誰かに否定されないか」と怯えていました。私は内向的で友達を作ることも苦手でしたが、私はそんな自分を変えようとはせず「苦手なのだからしょうがない」と開き直っていました。

しかし、そんな自分に転機が訪れたのは高校に入学した時でした。私は動物と関わりながら勉強がしたいと思い園芸高校全日制の動物科を受験していました。しかし私の勉強不足な部分もあり、全日制に入学することは叶いませんでした。それでもこの自然豊かな場所で学びたいと思い、定時制を受験しました。最初は定時制というものに不安もありましたが、いざ入学してみるとその不安が杞憂だったことが分かりました。先輩たちは優しく、クラスにもすぐにはいかなくとも馴染むことができ、次第に楽しい学校生活を送ることができました。日々の授業を通じてクラスメイトと仲良くなっていくと、次第に自分を主張することに対する不安感や苦手意識が薄れていきました。

そんな時、生徒会選挙の話が来ました。最初は人前に立つのが嫌で全くやる気はありませんでした。しかし、自分を主張する不安感や苦手意識が薄れてきた今なら、人の前に立つことができるのではないかと考えました。そして生徒会役員になったことで、人の前に立ち、何かを話す機会も増え、次第に人の視線や緊張感に慣れていきました。それを日常生活に活かせるようになり、授業中に自分から手を挙げたり、ボランティア活動に何度も参加したりと、今までの自分からは考えられないほど積極的になりました。

私は園芸高校定時制の生徒会長を務め、十月には、全国の農業高校生による農業クラブの全国大会に出場しました。私がここまで変わることができたのは、高校の環境が自分に合っていたこともありますが、一番の理由は自分の意志で変わろうとしたことだと思います。生徒会選挙の際に勇気を出して立候補しなければ、今の私はいなかったはずです。これからもこれまでの経験を活かして、自分の苦手なところを克服していけるように、新しいことに挑戦していきます。

「一人からの高校生活一人だった放送同好会」

都立浅草高等学校 四年 新山 あきな

「将来の夢はなに？」中学生の時、友達に聞かれました。私は「声優だよ。声だけで感情を表現するのが素敵だから。」と答えました。そうしたら、友達は「進路は声優の専門学校にしたら？」と勧めてくれました。しかし、合格後、家庭の事情で入学出来なくなりました。

そんな時に出会ったのが三部制の浅草高校です。選択科目が数多くあり、自分だけの時間割が作れるところが魅力的でした。部活動に放送同好会があることを知り、実際に入部届を出そうとすると、「部員一人になるけどいいの？」と先生に言われ驚きましたが、一人で頑張ってみるのも良い経験だし、将来のためにも役に立つのではないかと思います。入部することを決めました。

五月に体育祭があり、上手にできるのか不安でしたが、終了後のホームルームで先生が「みんなよく頑張った。新山さんもアナウンスよく頑張った。とても素晴らしかったよ。」と言ってくれました。友達からも「放送すごく良かったよ。」と言われ、とても嬉しくなりました。

二年生では、心の底から嬉しかった出来事があります。一人で続けてきた放送同好会に仲間が増えたことです。同じ学年、同じ学部の生徒で、一番仲の良い友達です。きっかけは、放送と一緒に手伝ってもらったことでした。放送の仕事と一緒にしていくうち、伝えることの大切さや、面白さを感じてくれて、入部したいと言ってくれました。心強い仲間が一人増えた瞬間でした。

四年生では、三年ぶりの体育祭を行うことが出来ました。リハーサルするとき、後輩から「放送同好会に入部したいです。」と言われたとき、自分が入部してから努力してきたことは、後輩に少しでも魅力的に映っていたんだという嬉しさがこみあげてきました。

高校に入学して変わったことがたくさんあります。一人から始めたことが努力して一人じゃなくなったこと。うまく行動ができなかったことが、自分を信じることで苦手を克服した達成感。仲間と困難を乗り越えていくことの素晴らしさ。こんな素晴らしい経験をさせてくれた先生や友達、そして家族には、感謝してもしきれません。成長した私は今、新しい夢を目指しています。